

2019年  
10月

# 消費税10%増税NO!

安倍政権は、来年10月から予定通り消費税率を10%に引き上げると宣言。増税となれば深刻な消費不況にいつその拍車がかかり、府民の暮らしと営業、京都経済は深刻な打撃を受けます。また分かりにくい「複数税率」の問題、免税業者を排除するインボイス方式にも怒りの声があがっています。

「中止こそ一番有効な景気対策」――街頭での宣伝活動、各地の演説会や「つどい」などあらゆる場面で、倉林議員は「増税は2度延期された。日本共産党の躍進で、今度はキッパリと増税中止を」と訴えています。



中止こそ一番有効な景気対策

国会で

## 医療機関の消費税負担

# 888億円 補てんされず

## 厚生労働大臣が「間違い」認め、改善へ

倉林議員は、11月15日、参院厚生労働委員会で、7月に明らかになった医療機関への消費税補てん不足を批判し、根本的解決を求めました。

医療機関は必要な物品購入（仕入れ）の際に消費税を払いますが、医療費は非課税とされているため利用者に転嫁できません。このため医療機関が仕入れにかかった消費税は診療報酬で補てんされる仕組みとなっていますが、2014年の消費税増税（5%→8%）に対応した診療報酬による補てんがされず、病院では4年間で888億円も不足しています。

倉林議員は、政府が繰り返してきた「おおむね補てんしてい

る」という国会答弁を「撤回すべきだ」と追及。根本匠厚生労働相は「当時の国会答弁の内容は誤ったデータにもとづく間違っただけ」と認めました。



質問後の21日、厚労省の諮問機関、中央社会保健医療協議会の分科会では、「病院の負担軽減を手厚くすることが確認されました。」

## 消費税 / 国保料

11.25 和束町で「語るつどい」

アッコ  
ガンバる!



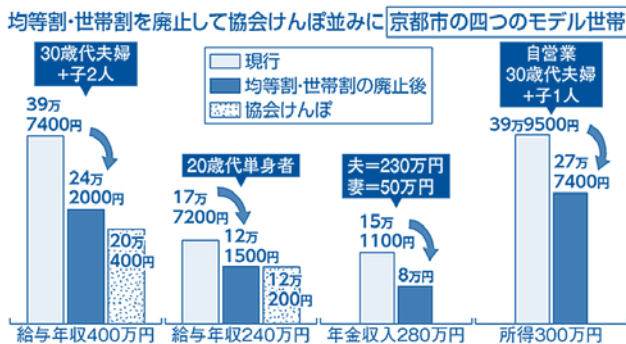
### 「財源はあります」倉林議員 ▶▶▶



倉林明子議員は、「増税しなくても社会保障の財源はあるのですか」という疑問を念頭に、「増税分は、社会保障財源ではなく、大企業や大金持ち減税に使われた。安倍政権は、この間、法人税率の引き下げなど4兆円もの企業減税をばらまいてきた。しかし、減税をしても、大企業は内部留保を増やすだけで、賃上げにも景気回復にもつながっていない」とズバリ。「中小企業を除いて税率を安倍政権以前の水準に戻す（4兆円）、富裕層の株式配当に欧米並みの負担をもとめる（1.2兆円）、所得税・住民税の最高税率を元に戻し富裕層の各種控除を見直す（1.9兆円）など、財源はあります」と強調。

### 国保料の負担を「ぐんと下げる」▶▶▶

また、先日発表した「高すぎる国民健康保険料（税）を大幅に引き下げる日本共産党の政策」提案も紹介。国保料を構成する「均等割」と「世帯割」を廃止して、「負担をぐんと下げたい」「この提案は、全国知事会の政府への要望（1兆円の公費負担増）に賛成して作られたもの」と紹介しました。「ぜひ実現を」の呼びかけに共感が広がりました。






こんにちは **倉林明子** です

2018年12月1日号



発行：日本共産党京都府委員会  
2018年12月1日号 〒604-8383  
京都市中京区西ノ京小堀町2-4  
電話：075-354-6771

日本共産党京都府委員会は、上記の見解を発表しました。

倉林明子   

# 『沖縄県民に寄り添う』『民意に心寄せる』

## 「あきれて耳をうたがった」と倉林議員

11月11日、舞鶴入りした倉林議員。「臨時国会の所信表明を聞いて、私、耳を疑いました」と切り出し、「沖縄での『オール沖縄』の三連勝の直後だったにもかかわらず、安倍総理は平然と『沖縄県民に寄り添う』と言った。ところが、その舌の根も乾かないうちに彼がやったことはなにか。国家権力を使って辺野古新基地建設工事の再開を強行したのです」と怒りをこめて糾弾しました。



「一方、民意を無視する安倍政権の暴走は絶対に許せないと、国会では野党が結束してたたかっています。いま、戦争法廃止で始まった市民と野党の共闘は、原発ゼロ法案の提出、消費税増税の中止、憲法改悪を許さないと一致点を広げています。その要となるのが日本共産党。舞鶴での4議席実現で、安倍政権にかわる新しい政治をご一緒に作りましょう」と呼びかけ、勝利することができました。



舞鶴市議選で、日本共産党が4議席

# 安倍政治とガチンコ対決 アッコが全力投球

## 障害者雇用 ▶▶▶ 政府による障害者差別、排除をただせ

11月20日、厚生労働委員会。倉林議員は、障害者雇用の「水増し」問題を追及。「問題の根本は、障害者雇用を増やさなくてすむように偽装報告を行ってきたことにある。政府による障害者への差別、排除があったと認めるべきだ」と迫りました。

また、「公務員の定員削減計画と障害者の安定的雇用は両立しない」と指摘。「国家公務員の障害者雇用の適用除外をただし、雇用のための法整備、働く障害者へのヘルパー配置などサポート体制を整備すべき」と要求しました。



## 原発質問54回

「原発ゼロ京都アピール講演会」で倉林議員。「参議院議員になって最初に所属した経産委員会。『ここは対立のない委員会だからね』と言われてびっくりした」と。「最初に福島の汚染水問題を取り上げて以来54回、原発問題を取り上げた。印象に残っているのは、安倍総理に避難計画のデタラメさを突きつけ、このときばかりは安倍さんが困った顔をし『努力する』と繰り返したこと」と報告。



## 高校生と本音でトーク

11.18  
京都私学  
フェス  
ティバル



今年の私学フェスティバルでは、憲法をテーマに私立高校生と国会議員らが討論会。高校生から「9条改正で再び戦争をする国にならないのか」「自民党改憲草案では13条（国民の幸福追求権）や99条（憲法尊重擁護義務）を変えるとあるが、権力者を縛る考えが崩れるのでは」との質問が。

### 憲法9条 《倉林議員》

#### 「改憲に反対」

集団的自衛権の行使が可能になった自衛隊を9条で位置づけると、米国が行う海外の戦争に巻き込まれる。



自衛隊が『違憲』ではない形にする議論を。

《自民党議員》

### 13条・99条 《倉林議員》

#### 「立憲主義が大事」

自民党の改憲案は国民より国の利益を優先するもの。権力者の横暴を縛る立憲主義が大事。



日本は三権分立。権力を走らせすぎないのが大事。

《自民党議員》

## 沖縄と連帯する

「No BASE 沖縄につながる京都の会」で挨拶した倉林議員。「所信表明で『沖縄県民に寄り添う』と言った安倍首相。その5日後、行政不服審査法を使って辺野古新基地工事の再開を強行した。しかし、今、日米地位協定の見直しをと、全国知事会でさえ一致して声を上げている」と紹介。「安倍政権は追いつめられています。力を合わせて、市民と野党の共闘で、安倍政権を打倒しましょう」と呼びかけました。

